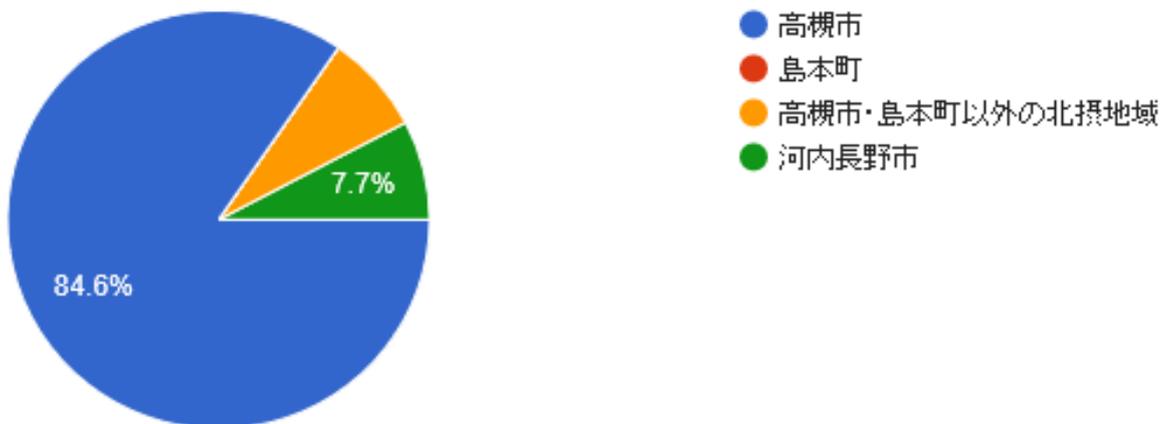


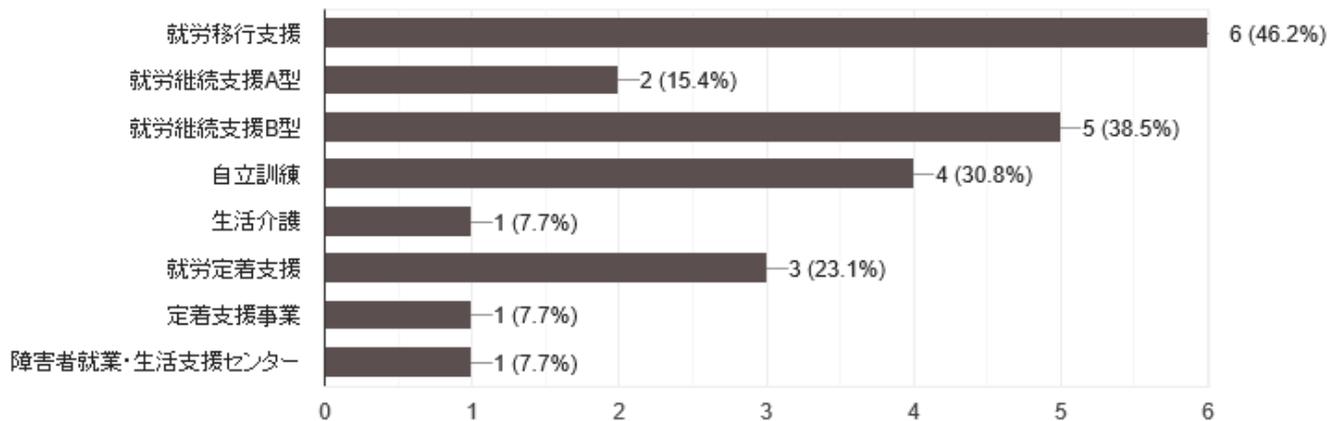
緊急事態宣言期間中の「障がい者通所系の福祉事業所対象 新型コロナウイルス影響調査」結果

- 期間 2020年5月5日(火)から2020年5月22日(金)まで
- 回答 13事業所

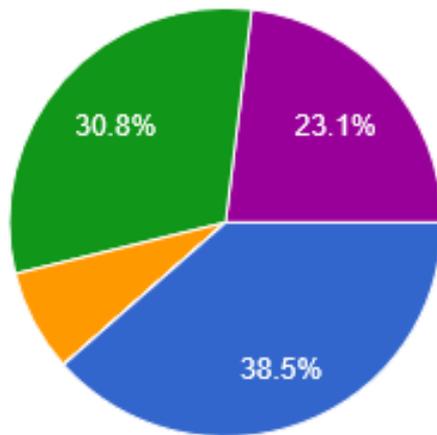
1. 事業所のある地域について



2. 実施されている事業種別(複数回答可)



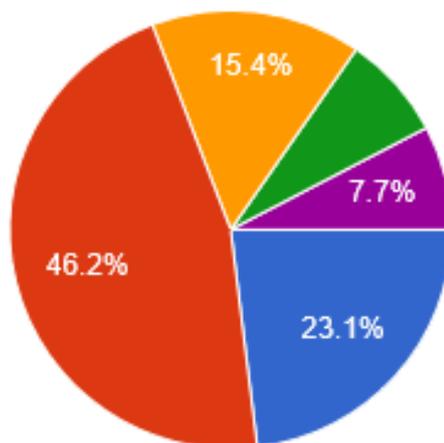
3. 開所状況について



- 通常通りに開所している
- 短時間開所を行っている
- 利用者を時間帯で分けたり、曜日で分け...
- 利用者には通所の自粛を依頼したうえで...
- 利用者には通所の自粛を依頼したうえで...
- 休所している(在宅支援をしていない)

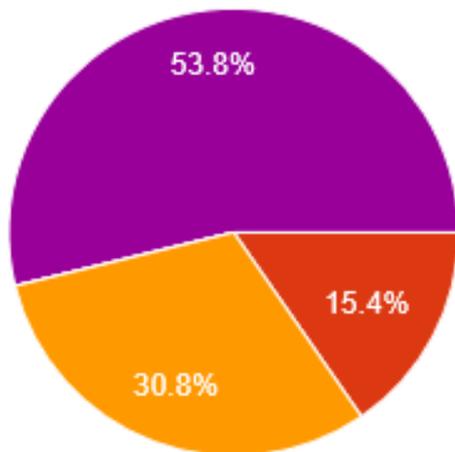
- 通常通りに開所している
- 短時間開所を行っている
- 利用者を時間帯で分けたり、曜日で分けたりしている
- 利用者には通所の自粛を依頼したうえで受け入れている(通所と在宅支援または在宅訓練の混合)
- 利用者には通所の自粛を依頼したうえで全ての利用者に在宅支援(在宅訓練)している
- 休所している(在宅支援をしていない)

4. 休所の可能性について



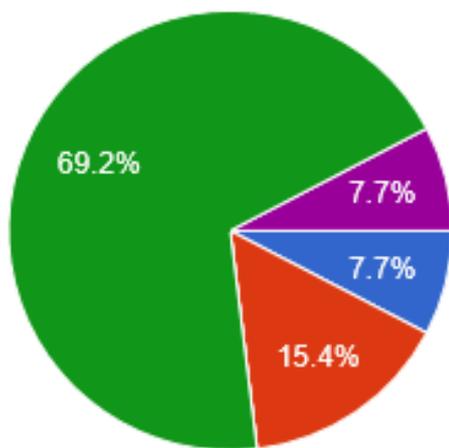
- ありえない
- 感染拡大が続けばあり得るかもしれない
- 感染拡大が続けば十分現実的である
- 近日中に実施する予定or検討中である
- 既に実施しているor実施していた

5. 利用者に対する通所(利用)自粛依頼の可能性について



- ありえない
- 感染拡大が続けばあり得るかもしれない
- 感染拡大が続けば十分現実的である
- 近日中に実施する予定or検討中である
- 既に実施しているor実施していた

6. 在宅支援(在宅訓練)の実施状況について



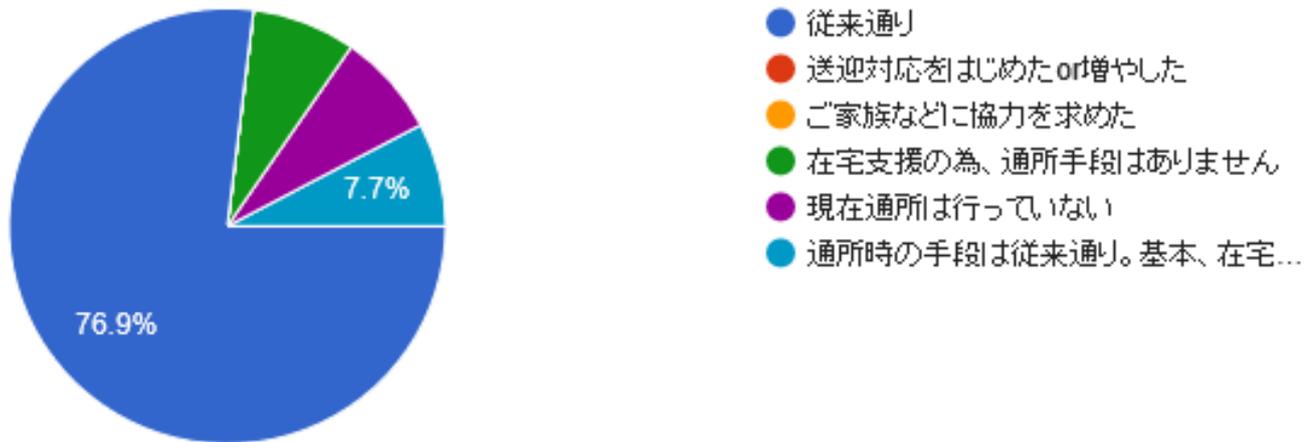
- 予定はない
- 検討している
- 実施している(訪問のみ)
- 実施している(電話のみ)
- 実施している(訪問と電話)

7. 在宅支援(在宅訓練)はどのようなことをされていますか？

- ✓ 在宅用プログラムを提供している。
- ✓ 作業の練習
- ✓ 個別課題、動画学習
- ✓ 1日1回程度の電話にて生活面、健康面、希望する福祉サービス等についての聞き取りと共に施設の様子などをお伝えしています。
- ✓ テキスト講座の動画視聴 パソコン訓練ツール配布 作業訓練ツール貸出 書類添削 週1回の面談(難しければ電話) 月1回の面談(難しければ電話)
- ✓ 心身の健康状態について。生活の状況。主が希望するサービス内容などの聞き取り、相談などを電話にて行っている。希望された方のみが対象。
- ✓ 電話、web面談、家でできる活動の提示、活動後の振り返り提出、など
- ✓ 電話、体調確認、自宅でできる活動の提案、など

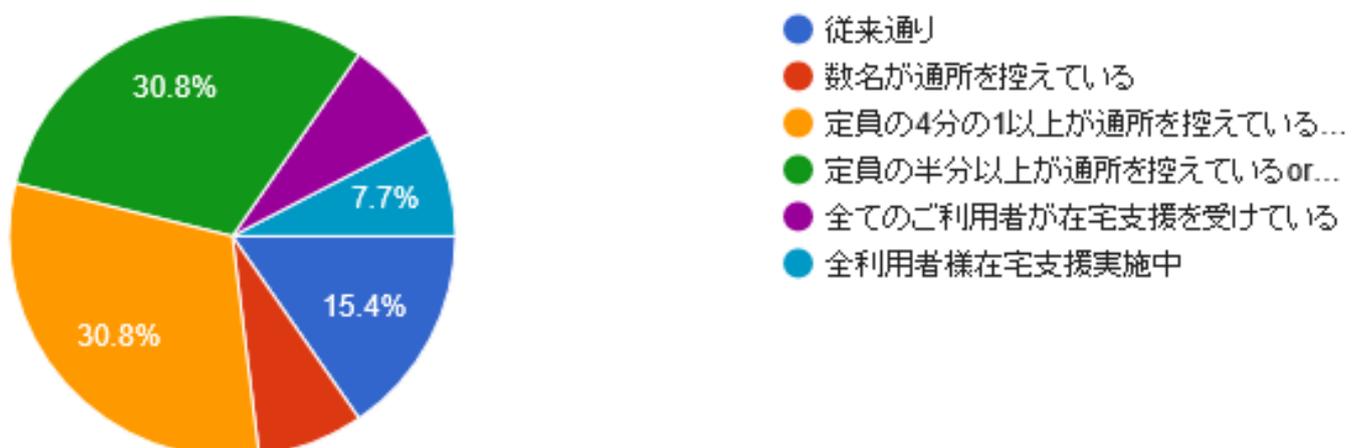
- ✓ スケジュールや課題をあらかじめ利用者と相談し、パソコンや家事、学習プリントなどを行っていただき、夕方、職員から電話連絡し、健康状態や生活状況、課題取り組みの進捗状況を報告していただいている。
- ✓ 在宅訓練で出来るプログラムを準備し、午前中に実施。利用者の希望に合わせて、個別のプログラム対応あり。

8. 利用者の通所手段について



- 従来通り
- 送迎対応をはじめた or 増やした
- ご家族などに協力を求めた
- その他
 - 在宅支援の為、通所手段はありません
 - 現在通所は行っていない
 - 通所時の手段は従来通り。基本、在宅訓練だが、希望者には在宅訓練の一週間の評価を来所面談で実施。また、ストレス発散、運動する機会の為、短時間・少人数で運動を実施中。

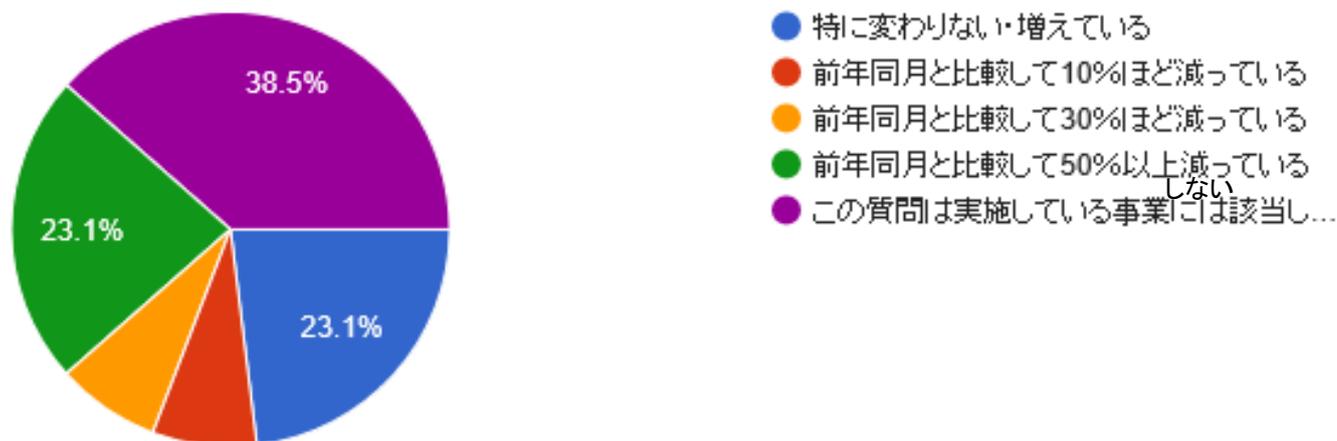
9. 利用者の通所(利用)状況について



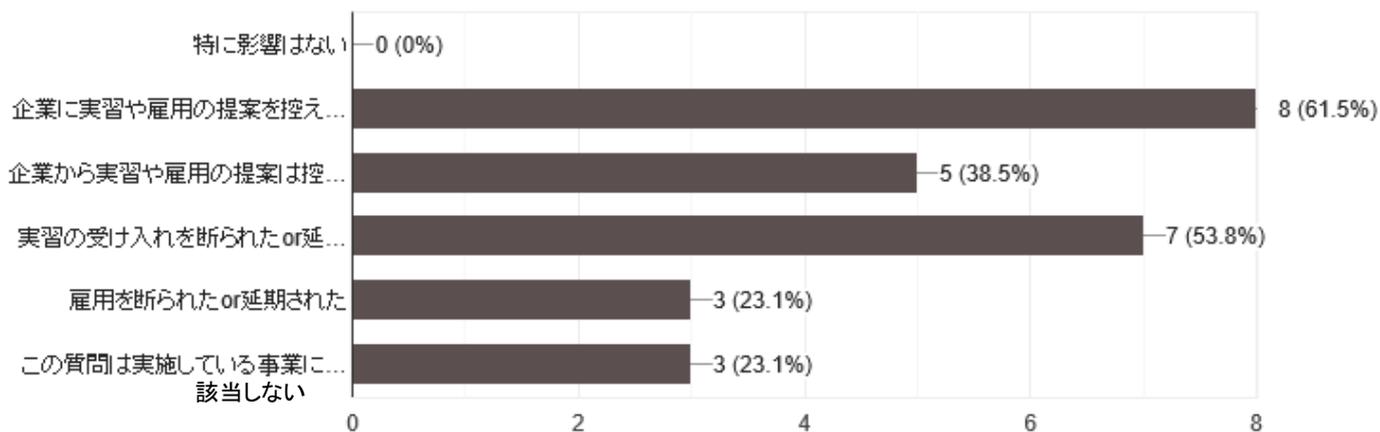
- 従来通り
- 数名が通所を控えている

- 定員の4分の1以上が通所を控えている or 在宅支援(在宅訓練)を受けている
- 定員の半分以上が通所を控えている or 在宅支援(在宅訓練)を受けている
- その他
 - 全てのご利用者が在宅支援を受けている
 - 全利用者様在宅支援実施中

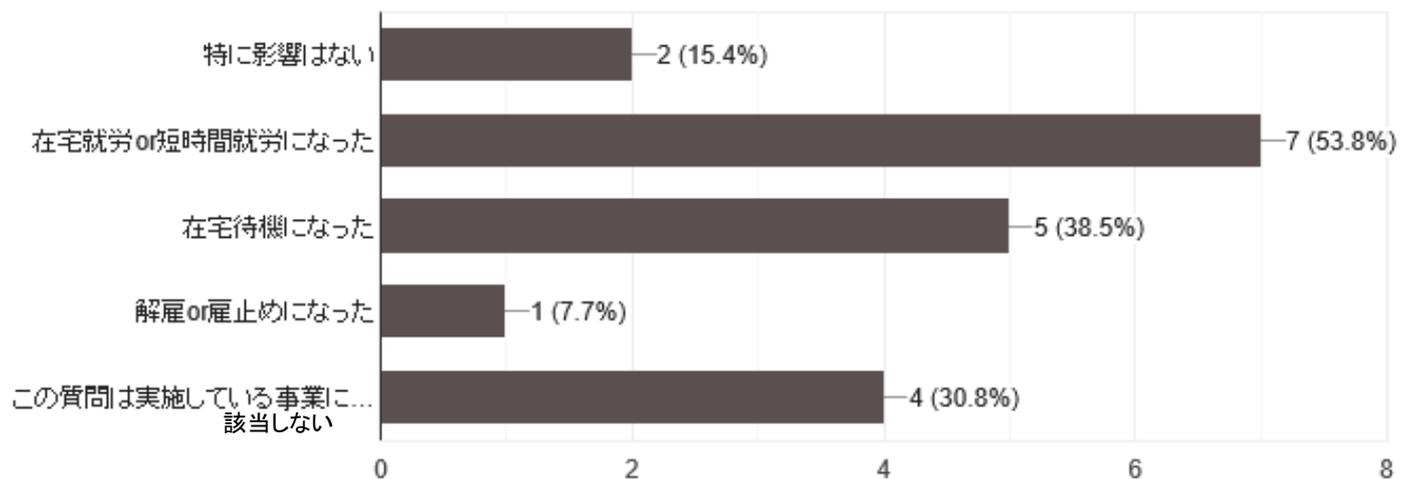
10. 受託作業や自主製品の売り上げについて



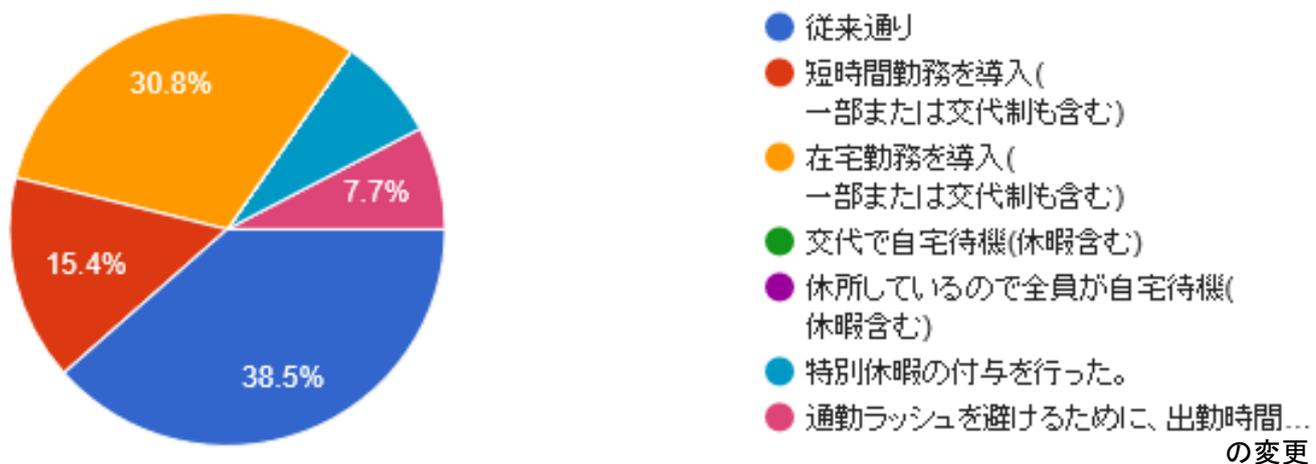
11. 利用者の実習・雇用について(複数回答可)



12. 利用者の雇用について(複数回答可)



13. 職員の勤務について



14. 新型コロナウイルスの影響について自由にご記入ください。

- ✓ ご利用者の不安(特に就労の可能性が閉ざされてしまう事を懸念して)が増大している中での毎日の架電や訪問での支援に限界も感じています。リモートワーク等に関する支援策を拡充を望みます。
- ✓ 当事業所は A 型 B 型ですが、メインである衣料・タオル等の印刷やプリント加工の仕事が、重なるイベントの中止で激減しています。選抜高校野球、夏の高校野球、地域の祭礼イベントに学校行事など。軽作業にしても定期的に継続して頂ける量が困難になってきています。とても苦しい状況です。
- ✓ 各市町村の対応の違いがあり、統一してほしい。(提出物など)・雇用・実習に大きな影響が出ており、就職が厳しい状況で昨年までに比べ 9 月までの就職率が大幅に減少することが見込まれます。その際に報酬単価が下がってしまうと、事業の存続にかかわってきます。来年度(必要であれば再来年度)の報酬単価の算定に関しては、今年度同様のまま、等の特例の対応をお願いしたいです。

- ✓ 在宅支援の基準が自治体によって異なる。緊急事態宣言中は日割り支給から在籍支給に変更してほしい。
- ✓ 雇用に関しては大きな影響あり 実習ができなくなったり、面接などもリスクとなることが多い。利用者でいくと、コロナによって在宅支援している方が ストレスが増えてきて体調不良につながるケースが見られてきた。スタッフ自身も不安も大きいため、色々な弊害があり。
- ✓ 店舗運営、受託作業において、今後も影響が長引くと考えています。売上減で工賃が減額とならないように、どう工夫していくかがとても悩ましく感じております。
- ✓ 事業所の環境が手狭なため利用者同士の距離をとるために、ここ1か月、環境整備を行ったり器具備品等の消毒の実施また、利用者支援の方法(在宅支援の進め方)等、様々な取り組みを行ってきました。しかし、本来の就労支援については、企業へのアプローチを進められないこと、また利用者自身がコロナへの不安感から通所を控えられる傾向にあり、2年の年限の中でここ数週間のの足踏み状態については危機感を覚えます。コロナの影響で倒産する企業や雇用調整される企業が増えることが予想され、障がい者雇用についての今後の見通しが見えないということが不安に思います。
- ✓ 利用者が希望していた企業見学、体験実習、就職活動がストップとなり、精神的に焦りを感じている方がいらっしゃるのを見て心苦しくあります。コロナが落ち着いたとしても、障害雇用ですが、現在の障害者の就労解雇はなかったとしても、今後、活動される方の就職難が気になります。在宅訓練は、コロナ感染予防の観点からは、利用者が通所されない分、リスクは低くなりますが、その反面、準備等に時間が割かれいつもよりも時間を要します。あたり前に開所している時をありがたく感じます。人数確保の為の積極的な営業活動が出来ない為、下半期辺りが恐ろしくありますが、少しでも人の心に残るような通信活動出来るように考えています。
- ✓ 復職支援が期限が決まっている事と、障害者職業センターのリワークの通所ができない為、困っています事業運営に多大な影響を与えていますが、ご本人さんも困られており、新しい支援や新しい雇用の在り方をみんなで協力して模索する必要が出てきていると感じます
- ✓ ・身体面について 基礎疾患のある方、そうでない方についてもどんな状態になるのか、回復するまでの道筋が見えないことによる不安は大きくあると思われます。・精神面について 社会全体が不安定になったことによる精神的なしんどさを、例えば障害を引き受けたことによって「言葉」で表現できなかったり、状況を理解することが難しいが変化していることは敏感に察知する力のある方の不安など、通常時にはないしんどさが目に見えない所で大きくあると感じています。

15. たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワークで実施してほしい研修があればご記入ください。

- ✓ リモートワークに関する先進的な事例紹介や意見交換の場
- ✓ スタッフのマネジメント
- ✓ よろしく願いいたします。
- ✓ 今回の緊急事態を受けて、今後の障がい者の働き方や可能性について、企業側からのお話が聞きたいです。
- ✓ 感染症対策